

地球温暖化防止

エコラム ECO-LUMN

Vol.92

〒地球温暖化対策室

☎295100

スマートムーブに取り組んでみませんか

家庭からのCO2排出量（1世帯あたり）の中でも、移動に伴う自動車からの排出量は全体の4分の1を占めています。移動手段である自動車のCO2排出量を見直すことは、高い削減効果につながります。

環境省では『移動』を「エコに」を合言葉に、エコで賢い移動方法を選択するライフスタイルを「smartmove（スマートムーブ）」と名付け、その取り組みを推奨しています。

公共交通機関や徒歩、自転車、自動車の利用を工夫するなどして、環境にいい、最適な移動手段を見つけてみませんか。徒歩や自転車で移動することにより健康づくりに役立ったり、いつもとは違う景色に出会えたりするかも



しれません。手軽な乗り物である自転車を利用するときは交通ルールを守って、人に優しい運転を心掛けましょう。

公共交通機関などの利用ができず自動車を利用するときには「エコドライブ」をお勧めします。①やさしい発進に心掛けましょう ②車間距離にゆとりを持って、加速減速の少ない安全な運転に努めましょう ③エンジンブレーキを積極的に使いましょう ④無用のアイドリングを止めましょうなど、環境に優しい運転を心掛けましょう。

環境省のホームページで、スマートムーブを推進する5つの取り組みが紹介されています。
<http://funtoshare.env.go.jp/smartmove/about/index.html>

ごみ

ちょっと気にして、
もっと気にして!

環境事業課 ☎315304
総合支所

ごみの減量パート1

本市の平成25年度における一人一日あたりごみ排出量は923gでした。平成24年度は911gで、12gの増量となっています。

12gは大粒のブドウ一粒分くらいの重さですが、一年分になると4kgを超えます。

市では、ごみの減量目標として、平成30年度の日標量を871gとしています。ごみを減量するには、毎日の生活で『もったいない』という意識を持って生活することが大切です。小さなことでも日々の積み重ねがごみの減量へとつながります。

『無駄なものを買わない』『ものを大切に、長く使用する』『食事はちょうど良い量を作り、残さず食べきる』『しっかり水切りをする』などを日頃から心掛けましょう。

生ごみ処理機器購入の補助金制度があります

■ごみ処理家計簿

減量効果		9月分(前年同月比)
増	処理費用換算	+ 1198万円
減	排出量 (1人1日当たり)	938g(+ 85g)

※処理費用は、処理に要する経費と排出量から単純に計算したもので、実際の金額とは異なります。

